

学校長御留書

加古川市立志方東小学校
令和5年度
学校便り夏休み特別号
第9号
R5.8.9発行

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果発表

7月31日（月）に、文部科学省が令和5年度実施の全国学力・学習状況調査の結果を発表しました。兵庫県教育委員会によりますと、調査には県内公立学校のうち、小学6年生は4万4571人が参加。国語、算数の2教科のテストを行い、生活習慣や学習環境なども尋ねられました。以下8月1日（火）の神戸新聞記事よりの抜粋です。



- ・兵庫県内の小学6年生と中学3年生は、「自分にはよいところがあると思う」と回答した割合が、それぞれ前年度比5.1%、1.6%上昇し、自己肯定感が増している状況がうかがえた。新型コロナウイルス禍で社会が混乱し、部活動や学校行事などが制限された影響もあってか、近年、この割合は低迷していた。また、「将来の夢を持っている」と答えたのは、小学6で前年比1.7%増の81.4%だった。
- ・2教科（国語・算数）の正答率は、全国平均と同じだった。全国的に正答率が低かった問題について、算数で応用力に課題があるという傾向は、小中学校に共通していた。
- ・タブレット端末などの活用状況では、週1回以上使っている割合が、児童生徒同士のやりとりで小学校は60%（全国平均68.5%）、教職員と児童生徒のやりとりでは小学校は76.7%（全国平均78.4%）だった。いずれも前年度より活用が進んだが、全国平均を下回った。

※端末（Chromebook）の活用について、本校は、昨年度の調査から全国平均より先進的に使いこなすことができていることがわかっています。例年加古川市において、「国語に課題あり」が続いており、本校も同じであると考えますので、今年度においても国語科で研究推進を図っています。

恒例の職員作業終了 今年も暑かった～



3日（木）8時半頃より、職員作業を行いました。作業内容は、本館、南館、体育館の各トイレ掃除、図書室・図工室・体育館の不要物整理、教材室の整理など、多岐に渡りました。特に、老朽化し使用不可能、現在の学習にそぐわなくなった古い教材など、中には大型で重量のある物もあり運び出す作業は大変でした。朝からの猛暑でしたので、職員一同汗だくになりながらの作業でしたが、チームワークで終了することができました。教育的雰囲気子どもたちに影響を与え、心に働きかけます。2学期以降も、教職員、子どもたちともども整理整頓を心がけ、気持ちよく学校生活を送れるよう、努力していきたいと思っております。